

2017年12月18日

BMW グループ、2017 年、年間 10 万台の電気駆動モデルの 販売を達成

➤ **ドイツ・ミュンヘンの BMW グループ本社タワーをバッテリー風にライトアップ**

ミュンヘン発：

BMW グループは、2017 年年初に掲げた「年内、グローバルで 10 万台以上の電気駆動車を販売する」という目標を達成した。これを記念して、ミュンヘン北部にある BMW グループ本社ビル「フォー・シリンダー・ビル」に光のインスタレーションでバッテリー風の装いを施し、モビリティの未来へ向けた道筋を示した。

BMW AG 取締役会会長のハラルド・クルーガーは、次のように語った。「当社はお約束を果しました。この高さ 99 メートルの光のインスタレーションは、エレクトロモビリティの時代に向けたサインです。年間 10 万台の電気駆動モデルを販売したことは記念すべき出来事ですが、これは当社にとっての始まりに過ぎません。2013 年に BMW i3 を導入して以来、当社は 20 万台以上の電気駆動モデルを販売しており、2025 年までに電気駆動モデル 25 車種を取り揃える予定です。早い段階でエレクトロモビリティに注力したことが、この成功を呼び込んだのです。そしてエレクトロモビリティは、今後も当社の将来的な成功のための尺度となり続けることでしょう。」

全てのモデル・シリーズを電動化

エレクトロモビリティは BMW グループの企業戦略である NUMBER ONE > NEXT (ナンバー・ワン・ネクスト) の大事な要素であり、プレミアム・モビリティおよびモビリティ・サービスのリーディング・プロバイダーとしての BMW グループの地位は、この戦略に沿って拡大し続けている。BMW グループは、2025 年までにグローバルで、ピュア EV モデルおよびプラグイン・ハイブリッド・モデルを 25 車種にする予定。2021 年から利用可能となる予定の第 5 世代の電動ドライブ・トレイン／バッテリー・テクノロジーは、拡大・縮小搭載が可能なモジュール式電動化キットを使用して全てのモデル・シリーズに搭載でき、その結果将来のモデル・シリーズはあらゆるタイプのドライブ・トレインに適合する。2011 年に設立された電気駆動モデルに特化した BMW i ブランドは、すでに BMW i1～i9、BMW iX1～iX9 の命名権を確保している。来年には BMW i8 ロードスターが発売され、2019 年には MINI のピュア EV が導入される。また 2020 年には BMW X3 の電気駆動モデル、2021 年には同ブランドの新たなテクノロジー・フラッグシップとなる BMW iNext (アイネクスト) によって、初めて自律走行、新しいインテリア・コネクティビティ機能にエレクトロモビリティを組み合わせた量産モデルが登場する。

BMW グループは 2007 年に BMW i の先駆的事業としてプロジェクト i を立ち上げ、早い段階でエレクトロモビリティへの総体的な取り組みを開始した。翌年には、自動車業界では初めて電気自動車のテスト車両を多数用意し、世界各地で大規模なフィールド・テストを行っている。

る。世界で最も多くの賞を獲得した車両コンセプトを採用したピュア EV モデルの BMW i3 は、2013 年に量産が開始。以降過去 4 年連続で販売台数を伸ばし続けている。

BMW グループはエレクトロモビリティのトップ・メーカーに

早期にエレクトロモビリティへの取り組みに注力したおかげで、BMW グループはすでに自動車市場において主導的地位を確立している。独立機関の POLK/IHS の報告書(2017 年 12 月 7 日公開)によれば、BMW グループはヨーロッパでのピュア EV 車両およびプラグイン・ハイブリッド車両の新車登録台数に関して競合他社を大きくリードしており、市場占有率は 21%に及ぶ。つまり、電動車部門における BMW グループのシェアは、従来型エンジン・モデルの市場シェアの 3 倍以上にもなっている。現在、欧州の全自動車メーカーの新規登録車両に占める電動車の比率は 2%だが、BMW グループ内で見るとすでに 6%を占めている。BMW グループは、ヨーロッパで成長著しいエレクトロモビリティ市場の中ではかなり高いシェアを占めていると言える。全世界の市場における同社の地位の高さも同様で、グローバルの自動車市場でのシェアは 10%に達している。

電動化モデルは、特に西ヨーロッパと米国での需要が高く、両市場における BMW ブランドの販売台数の 7%を占めている。スカンジナビアにおける BMW のベストセラー・モデルは BMW i3 であり、販売された BMW 車両の 4 台に 1 台が電動化モデルとなっている。ドイツでは、今年新車登録された BMW グループ車両のピュア EV モデルとプラグイン・ハイブリッド・モデルが 1 万台を超えた。個々のモデルにおける動力源のバリエーションにおいて、電動化ドライブ・トレインはますます重要な役割を果たすことになる。2017 年、グローバルにて高い人気を誇る BMW 3 シリーズ セダンに、電動化モデルが加わった。また、2017 年に販売された BMW 2 シリーズのアクティブ ツアラーのうち 13%がプラグイン・ハイブリッド・モデルだった。さらに、MINI クーパーS E カントリーマン ALL4(日本市場では MINI クーパーS E クロスオーバー ALL4、燃費 2.3~2.1 リッター/100 km、CO₂ 排出量 52~49 g/km)は、すでに世界中で販売された MINI カントリーマンの一割を占めている。ピュア EV の BMW i3 の販売台数も 25%増加している(すべての数字は 2017 年 11 月時点の累計)。

BMW グループが販売する 9 台の電気駆動の四輪モデルを補完すべく、優れた都市型エレクトロモビリティとして理想的な自動二輪車「BMW C エボリューション」を製造している。このスクーターは、新しいバッテリーを搭載することで航続距離を 160km まで拡大した。この電動式スクーターの販売台数は、昨年 11 月までの販売台数と比較して 80%増加した。グローバルで計 1,500 台を販売したが、この数字は、2017 年に販売した電動化モデル 10 万台には含まれていない。

BMW Welt での納車式

お客様の 1 人は本日特別なサプライズを体験した。ドイツ、ノルトライン・ヴェストファーレン州の 80 歳のドライバーが、本日午後、ミュンヘンの BMW Welt (BMW ワールド)において、本年販売された BMW の電気駆動モデルの 10 万台目となるプロトニック・ブルーの BMW i3 の納車式に訪れた。BMW AG 取締役会会長のハラルド・クルーガーは、このドライバーを BMW Welt に迎え入れ新しいクルマのキーを手渡ししながら、「エレクトロモビリティに対する

期待はすべての世代に共通して存在します。今年、当社が販売した電気駆動モデルの10万台目のクルマをお渡しできることは、私にとっても特別な瞬間となりました。」とコメントした。

光を放つシンボル

今回の記録達成を祝うため、BMW 本社の「フォー・シリンダー・ビル」は光のインスタレーションによって4つの直立するバッテリー風に変え、BMW の遺伝子の一部である未来志向を表現。2017年12月18日午後8時から深夜まで実施された。このプロジェクトは、文化組織「Spielmotor Muenchen(シュピールモーター・ミュンヘン)」との協力にて実施された。このミュンヘン市とBMW グループとの官民共同体は、ミュンヘンに文化的多様性をもたらし、国内外の文化的目的地としての同市の役割を確立し、拡大することを目的として1979年に設立されたもの。

新型乗用車の公称燃費、公称CO₂排出量および消費電力に関する詳細情報は、「Leitfaden über Kraftstoffverbrauch, die CO₂-Emissionen und den Stromverbrauch neuer Personenkraftwagen(新型乗用車の燃費、CO₂排出量および電力消費量に関するガイドライン)」に記載されています。この資料は、すべての販売店、Deutschen Automobil Treuhand GmbH(DAT)(所在地: Hellmuth-Hirth-Str. 1, 73760 Ostfildern-Scharnhausen)および同社ウェブサイト(<http://www.dat.de/en/offers/publications/guideline-for-fuel-cons>)にて入手できます。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インタラクション・センター: フリーダイヤル 0120-269-437 を
ご掲載ください。

受付時間: 平日 9:00-19:00 / 土日祝 9:00-18:00
BMW インターネット・ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:
BMW Japan Corp. 広報室: 03-6259-8025(企業広報)